

せいらいん人推協だより

発行者:晴嵐学区「人権・生涯」学習推進協議会
第2号 平成27年3月1日発行

人推協活動を振り返って！！

晴嵐学区「人権・生涯」学習推進協議会 会長 杉本 繁



いよいよ平成26年度もあと僅かを残すのみとなりました。晴嵐学区の皆様方の温かいご支援のもとで、事業計画どおり順調に展開することが出来ました。ご協力誠にありがとうございました。

さて、イスラム過激派組織による卑劣な蛮行は、人が人として生きる権利をはく奪する行為であり、基本的人権を破壊する事件であると思っています。テロ事件もしかりです。

一方、国内においても何の罪もない小学生を始めとして殺傷、殺害する事件が相次いで発生しており、晴嵐一丁目の盛越川の河口という身近な所でも死体遺棄事件がありました。こうした事件が後を絶ちません。また、児童虐待も年々増加しているようで誠に残念な限りです。

私たちはこれからも地道ではありますが、学習活動、啓発活動を通じて人権意識の高揚、あらゆる差別や偏見をなくし、明るく住みやすいまちづくりの推進に努めてまいりますので、今後とも格段のご協力をお願いいたします。

この1年間を振り返ってみますと、5月に開催した総会の場で「人権生涯学習推進員研修会」を開催。7月に「人権を考える市民のつどい『晴嵐・夏の集会』」、8月に「人推協中南部ブロック研修会」、11月に「晴嵐・秋の集会」、「社会福祉協議会との合同研修会」、12月に「人権講座」、2月に「役員・推進員研修会」と立て続けに学習活動を展開してまいりました。こうした活動の内容をお知らせすることも一つの役割であろうということで、概要ですが2ページ以降に掲載させていただきました。

そして、人推協が開催する事業を計画する際の参考にいたしたく、皆様からテーマや講師等についてのご希望やご意見を頂戴できればと願っておりますので、よろしく申し上げます。

ご意見・ご要望は直接、晴嵐市民センターにご連絡願います。

ご存知ですか？このマーク



大津市「人権・生涯」学習推進協議会連合会
人権啓発シンボルマーク

各人が、やさしさを取り戻し、あたたかいハートを持った人間本来の姿で「和」を大切にすることをシンボル化したものです。

〔人権 = 心のマーク〕

— 26年度の活動結果報告 —

第46回人権を考える大津市民のつどい

「晴嵐学区 夏の集会」 【講演】「ネット社会がもたらす危険な落とし穴」

講師：原 清治氏（佛教大学教育学部長）



平成26年7月12日（土）9時30分から晴嵐市民センター大ホールに於いて人権を考える夏の集会を開催しました。小中学生のお子様を持つ保護者及び教職員が多く、157名の参加者となりました。

ネット社会の急激な変化、拡大が進む中、無意識のうちに人権を侵害することや、経済的なトラブルが起こっているケース等、丁寧な説明で携帯電話利用に家庭でのルール作りが大切であると感

じていただきました。また、LINE（無料通信アプリ）により日常の何でもない会話がトラブルや虐めの原因になったりしている様子など、子どもを持つ保護者のネットへの関心度が高まった講演でした。

「晴嵐学区 秋の集会」

平成26年11月15日（土）午前9時30分から晴嵐小学校に於いて人権を考える秋の集会を開催しました。地域の皆さんや学校関係職員など145名が参加し、人権を考える学習の場として終えることが出来ました。本年度の集会は、今日まで実施してきた各分野からの話題提供者による3分科会形式を改めて、『安心して暮らせるまちづくりをめざして・・・「子ども、高齢者への関わり寄り添いを求めて」・・・』を統一テーマ



にし、5つの分散会方式で実施しました。各分野からの参加者は1つの分散会に偏らずに5つに分かれて参加し、熱心に話し合われました。

各分散会では参加者から次のような感想がありました。

- * 様々な立場や年代の方々の話を聞くことができ、大変良い学びの場であった。
- * 商店街コミュニティやスクールガード、保育・幼稚園、小・中学校の立場の人がそれぞれの視点での話を出され、多くのことを学ぶことができた。
- * 討議しやすいテーマで活発な意見交換の場になり、良い面や改善していかなければならない面が浮き彫りになった。
- * 地域の方の顔を知ることができただけでも前進した。

その他、沢山の前向きな声を聞くことが出来ました。今集会は他のブロックでは見られない形式での取り組みでしたが、参加者の皆様のご理解とご協力により人権を考える場となりました。

晴嵐学区 人権生涯学習推進協議会・社会福祉協議会の合同研修会

～～～すばらしい自然環境の湖北の里を訪ねて～～～

平成 26 年 11 月 17 日に毎年恒例の人推協と社協との合同研修会を実施しました。研修地は近隣府県を訪れるのが多いのですが、本年度は湖北の地を研修の場を選び、36 名が参加しました。午前長浜市木之本町黒田の滋賀県立特別養護老人ホーム「伊香の里」を訪問しました。伊香の里は身体上または精神上、著しい障害があり介護の必要がある「要介護」の判定が出た人が利用可能な施設で定員が 50 名です。その他、併設事業として短期入所生活介護・通所介護・居宅介護支援・ケアハウス伊香の介護予防サービス事業を展開され、充実した施設に 200 名弱の方が利用されています。参加者の皆さんは大変関心をもってお話を聞いておられました。

昼食は全国から鯖寿司を食べに来られる老舗の「すし慶」でお世話になり、午後は北国街道を散策しました。木之本町黒田は黒田家発祥の地であり「黒田家御廟所」や「黒田官兵衛博覧会」を見学いたしました。また、目の仏様として知られる「木之本地蔵院」にもお参りしました。その後、高月町へ移動し渡岸寺に安置されている国宝「十一面観音像」を鑑賞し、多くの参加者はその美しい気品に満ちた容姿に感動しました。今回の研修会で参加者の皆さんは改めて大津との気候や文化が違う湖北の里に魅了されたことと思います。



晴嵐学区人権講座

平成 26 年 12 月 13 日(土)14:00～15:30
(晴嵐市民センター3 階ホール)

【講演】「人生の終わりに備えて ～人生の身仕舞い支度～」

講師:稲垣 忠 氏(NPOシニアあんしん倶楽部 理事長)

4 人に一人が 75 歳以上という超高齢化社会が 2025 年に到来すると言われていています。そんな中、高齢期を充実した幸せな生活が送れるように今から備えておく必要があります。最も大切なことは、自らが健康で長生きするとともに、自己の意志がしっかりと表現できる間に家族と共有できるものを準備しておくことの大切さをお話いただきました。

～～～自分も家族も安心のために、人生の身仕舞い支度 10ヶ条～～～

1. 緊急医療情報を用意しておく
2. 遺言やリビングウィル(事前指示)を書いておく
3. 健康は日々の備えから
4. 行政と民間の見守りサービスを知って使いこなす
5. 無縁よりも多縁、頼れる仲間をつくる
6. 在宅医療について知っておく
7. かかりつけ医を持ちましょう
8. 介護保険を知っておく
9. 成年後見制度を知っておく
10. 健康状態に合わせた自分仕様の見守りネットをつくる(翌日発見システム)

*もしもの時、翌日には誰かがあなたを発見してくれますか？



晴嵐学区人権生涯学習役員・推進員研修会

平成 27 年 2 月 26 日(木)、当日は朝からあいにくの雨でしたが、22 名の参加人数で晴嵐市民センター前からマイクロバスに乗って 9 時に出発。行先は JR 京都駅と鴨川に囲まれ、全国的に見ても有数の広さ(甲子園球場の約 6 倍の面積)を有する同和地区の崇仁学区内にある「京都市下京いきいき市民活動センター」に到着。改めて人権問題の根幹である同和問題について学ぼうとする企画です。

自身が同地区の出身であり、崇仁小学校の PTA 会長も務められた「NPO 崇仁まちづくりの会」専務理事の菱田不二三さんから、120 分の講話を受けました。

崇仁小学校の児童は 90%以上が同和地区出身者で、人前で自分の思いや考えを述べるのが苦手、根気がない、いやなことを避ける等の児童が抱える課題は地区外の他校に比べて非常に多いという現実があったようです。

様々なお話を聞かせていただきましたが、話の中で特に記憶に残ったのは、子どもが敬語を使えない、というよりむしろ敬語を知らないという話でした。菱田さんたち

はそういった課題やその他の地域が抱える問題を地域内部の側からなんとか克服していかうと地域や行政と協力しながら頑張っておられるそうです。

歴史的に階層の固定化により就職など様々な差別を受けてきて、貧困などから何代にもわたっての殺伐とした日々の生活が自然に他の地域と異なる文化を醸成していったのだというお話でした。そんな話を聞いて、昨今言われている貧困の連鎖など、階層の固定化が新たな差別構造を生み出す可能性があり、我々一人ひとりが問題意識を持って暮らすことが大切だと思いました。

「市民活動センター」での 2 時間の研修を終えて、「美ね寅」という店で昼食をとり、その後「八つ橋庵・刺繍の館」に立ち寄って立派な刺繍を見たり、お土産を買ったりしました。また、最後には清水寺近くにある霊山歴史館に寄りました。ここは幕末・明治維新时期に活躍した志士などを含めた多くの人たちの遺品や各種資料を展示しているところです。ここを見学した後、隣接する坂本龍馬など志士などの墓地を散策してから帰路に入り 17 時頃、晴嵐市民センターへ到着しました。参加者一同、有意義な一日を過ごしました。



崇仁地区の活性化のため、山鉾を作り、地元及び地域を巡行。



【編集後記】あっという間に前月号より半年が過ぎてしまいました。今回は、1 年間の事業で主な行事を限られた紙面の中で掲載しましたが、活動内容をうまく伝えられたか心配しています。巻頭でもお願いしておりますが、皆様からのご意見・ご要望をお待ちしています。

晴嵐学区「人権・生涯」学習推進協議会
(晴嵐市民センター内)
電話 537-0743